



平成 28 年度 JICA アフリカ地域市場志向型農業振興（行政官）（A）研修
- JICA Market Oriented Agriculture Promotion for Africa (Planning and Management) (A)-

研修期間：平成 28 年 5 月 9 日～ 5 月 20 日（2 週間）

研修場所：神戸市

研修内容：日本の農作物流通システム及び農業普及システムに関する講義／視察
ケニアで実施された「小規模園芸農民組織能力強化計画プロジェクト」導入に向けた政策・活動計画立案のための演習

参加研修員：17 名

（エチオピア 3、ケニア 2、レソト 2、ナミビア 2、南アフリカ 5、ジンバブエ 2、ザンビア 1）

当財団では、昨年に引き続き、独立行政法人国際協力機構（JICA）の委託を受けて 5 回目の「アフリカ地域市場志向型農業振興（行政官）」研修を実施しました。今回も農業関係機関のご協力により、実りある研修を実施できました。

アフリカでは農業は主要産業で、また市場に出回る農作物の 60% は小規模農家によって栽培・出荷されていますが、小規模農家はマーケットの情報収集と栽培計画の知識が欠けている場合が多く、収入も少ないのが現状です。このような状況の中で、農業従事者の所得向上と生活改善を図るため 2006 年～2009 年にかけてケニアで農家自らが市場志向型農業を実践するための各種支援活動（SHEP アプローチ）を行い、収入が 2 倍以上になるという大きな成果を上げました。その SHEP アプローチをアフリカ全体に展開するため、研修が行われ、今回は 3 年目となりました。なお、本研修プログラムは K I C が担当する日本での研修終了後、ケニアで一週間の事後補完研修が行われています。



神戸市経済観光局農政部農水産課の向井課長より日本の農政における地方自治体役割についてご講義頂きました。



～研修を振り返って～

日本での研修の内容は、農作物の栽培から出荷、販売、行政機関から農家への情報伝達の仕組み、農業関係者の様々な工夫及び農業推進の政策、販売促進イベント企画などの講義、視察を行いました。



JA兵庫六甲の農業女性グループ
ピカリショップのメンバーと意見交換の様子

一例をあげると、女性農家の直売所「JAピカリショップ」では、11名の研修員の女性メンバーの関心が高く、ピカリショップメンバーの女性農業者と自主独立経営する仕組みと工夫、そして今後の課題などについて活発な意見交換が行われました。その結果、農業における男女公平な共同参画の必要性に対する理解を深めました。

あわせて研修員達に日本の文化と歴史を知ってもらうため、茶道体験と世界遺産である下鴨神社の見学も実施しました。研修最終日、研修員から国ごとにアクションプランが発表され、研修中学んだ知識とノウハウが十分に反映された研修の成果を実感しました。今後は各国研修員がアクションプランに基づき行動し、そしてアフリカの多くの国で小規模園芸農家達が「市場を知り、農業で稼ぐ」という意識が浸透し、所得向上、生活レベルの改善につながることを期待しております。



日本の文化と歴史を知ってもらうための京都視察研修員達すっかり京都の魅力に引かれ、なんでも興味津々の様子でした。

委託元機関：独立行政法人国際協力機構（JICA）関西国際センター

協力機関：神戸市 経済観光局 農政部 農水産課／京都大学／筑波大学／兵庫県 神戸県民センター 神戸農林振興事務所 神戸農業改良普及センター／神戸市中央卸売市場本場／神果神戸青果株式会社／JA 兵庫六甲神戸地域事業本部／JA 兵庫六甲神戸西宮農総合センター／JA 兵庫六甲岩岡支店／イオンリテール株式会社／山梨英和大学／有限会社アイ・エム・ジー／歴史街道推進協議会



～研修員の声『神戸を訪れて』～

Participant's Voice 『VISIT TO KOBE』

レソト 研修員 Mr.KABELO Mpho Samuel



My short stay in Kobe city in Japan was two happiest weeks of my life. From the amazing infrastructure to very humble people, everything was just perfect.

Never in my life have I seen humble and respectful people as Japanese. In our Basotho culture we usually bow to superior people like the King, Queen you name them, but in Japan in stores, restaurants, malls, after provision of service shopkeepers always bowed and said “arigato gozaimasu”(thank you) and I always walked out feeling like

a king, in Japan it is true that a customer is king. What I also admired about Japan is the passion people have in everything they do, the other day I was looking at our bus driver the other day before we left for a site visit, the way he was cleaning the interior and exterior of the bus you could see the intense love of his job, as if that was not enough when we were entering the bus he stood by the door and was bowing to every one of us saying “ohayogozaimasu” (good morning). I could not help but stand there stunned by, I reiterate, the humbleness, respect and love Japanese have.

Furthermore, what really transformed me as a person which I learnt from the Japanese is punctuality, it was always unbelievable how lecturers delivered their lectures to the very minute and also how scheduled trips went as planned.

Kobe city is really a city hard to forget with all its amazing experiences from the tasty healthy diet, safe streets with almost zero crime, wonderful recreational activities like going to the spa (on JA night) to the amazing view of the Port of Kobe. If anyone was to ask me about the most amazing city to visit, Kobe would definitely be on top of the list, in fact I'm planning to visit again.

神戸市での短い滞在は、私の人生の中で最も幸福な2週間でした。よく整備されたインフラと非常に謙虚な人々、すべては完璧でした。

私は日本人のような謙虚で礼儀正しい民族を見たことはありません。日本では店、レストランの店員がいつも「Arigato gozaimasu」(Thank you)と挨拶してくれて、王になった気分を味わせてくれます。そして私が日本人について賞賛したいのはすべてのことに情熱を持つことです。

先日、私達が視察先への訪問に出発する前に、バスドライバーがバスの内部と外部を綺麗に掃除していたのを見掛けた時、私は彼の仕事への情熱を感じました。そして彼はドアの前に立ち、私達1人ずつ「ohayogozaimasu」(おはようございます)と挨拶してくれました。

さらに、私は日本人から、時間厳守の大切さを学びました。講演者達が非常に緻密に講義を提供してくれました。そして予定されていた視察も、すべて計画された通りに行われました。

神戸市は、健康的な食事、安全な街路、温泉などの素晴らしい娯楽や神戸港の美しい景色を楽しめる、忘れがたいまちです。もし誰かが私にどこを一番訪問すべきかと聞かれたら、私は間違いなく神戸だとお勧めすることになるでしょう。